

池上総合病院 様

東京 大田区 池上総合病院様 フルHD IPカメラ映像監視システムを納入 患者様とそのご家族、職員が安全で安心頂ける病院を目指して

医療法人社団 松和会 池上総合病院様は、東京大田区池上に位置し、急性期医療（病気の発症から病態が安定し回復期に移行するまでの期間における医療）を中心とした二次救急指定病院です。池上総合病院様では、地域のかかりつけ医である先生方と協力・連携を取りながら急性期医療を中心とした医療を行っています。”病院と地域の医療機関との円滑な連携”を掲げ、地域の先生方の協力のもと地域医療に貢献しています。

この度、病院の安全と安心の確保のため映像監視システムの導入にご尽力された、事務部 総務課 副主任 丹羽 康裕様に、本システムについてお話を伺いました。

患者様とそのご家族、職員が安全で安心できる病院を目指して映像監視システムを導入

映像監視システム導入の目的についてお伺いしました。

「当院では、患者様とそのご家族、職員のさらなる安全・安心を確保するため、新たに映像監視システムを導入しました。これまでは、アナログカメラを4台玄関口などに設置し、建物の入退管理の映像監視を行っておりました。建物内で何らかのアクシデントが発生した場合に、その階や該当するエリアにどのような人がいたかという確認には、居合わせた人の証言を元にするほかなく、事実確認が困難でした。そのため、建物および各階の入退を撮影し病院全体の人の流れを把握することで、建物内全体の安全を確保することとしました。」
そのほか、これまでのシステムでは、記録日数が短い、停電時には動作を停止してしまう、映像のタイムスタンプにずれが生じるなどの課題があり、これらを解決することが必要でした。



東京大田区池上に位置する池上総合病院



お話を伺った 丹羽 康裕様



監視室に設置されたシステムラック。
58台のフルHDカメラの映像を
1ヶ月程度記録できるよう設計。

運用に則したシステムの提案により池上通信機を選定

多数ある各社の映像監視システムのなかで、池上通信機を選定した理由についてお伺いしました。「池上通信機のデモは、その内容が運用に則していました。遠く被写体や暗がりではどのように映り記録映像はどのような画で確認できるのかが良く理解できました。遠くの小さめに映る被写体もカメラ映像が高精細なため、デジタルズームすることで人の顔などもはっきりと判別できました。照明のない暗がりも、カメラが高感度であることはもちろん、カメラに装備された映像をクリアに見せる様々な機能により、鮮明に映ることが確認できました。ほかのメーカーのデモも見ましたが、池上通信機が最も優れていて、このシステムならば当院で運用できると判断しました。」
運用時の効果を高く評価頂いたことが、今回の選定の決め手となりました。

順調に移動

池上総合病院様には、8階建ての病棟2棟と9階建ての管理棟があります。カメラの設置に関しては、病院全体の人の流れを把握するにはどの位置が最も効果的か、丹羽様と池上通信機で協議を重ね、位置と台数を決めました。全ての建物および各階の入退を63台のフルHDカメラで撮影した映像で記録し、過去1ヶ月間程度の病院内の人の流れを映像で確認できるように設計しています。無停電電源装置（UPS）を備え、停電時にも継続して録画が可能です。映像にリンクした時刻情報は、タイムサーバにより高い精度を保持しています。

導入後目的どおりの運用ができていないか、お伺いしました。

「監視カメラの設置位置をデザインするコンセプトを『各階の入退管理』に統一しているので、誰がどこに行ったか、人の流れが理解し易くなっています。納入後すぐに、該当するエリアの特定の時間帯においてどのような人の入退があったかを調べる事がありましたが、短時間で検索でき、はっきりとした映像で確認することができました。これまでは、居合わせた人の記憶に頼るしかなく、事実の把握が困難でしたが、このシステムの導入により、動画で事実確認ができるようになりました。」

カメラの性能と機能を生かし効率的なカメラ配置を追求したシステムインテグレートにより、最小限のカメラ台数で効果的な映像監視を実現しています。

夜間の屋外の撮影について伺いました。

「夜間の屋外の映像は赤外照明モードで撮影しています。これまで使用していたアナログカメラとは比較にならず格段に感度が向上しました。従来暗くてわからなかったエリアもはっきりと確認できます。」

屋外設置のカメラは赤外照明を装備しているため、0lxでも鮮明に被写体を映し出します。

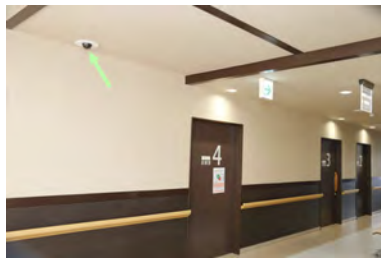
（注：赤外照明の映像は白黒です）



病棟の入退を確認



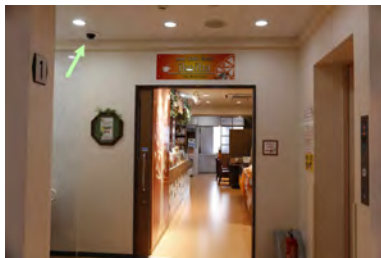
エレベーターホールと階段の人の流れを確認



診察室の入退を確認



健診センターの入退を確認



エレベーターの乗降を確認。
奥のコーナーは「Medi Café 医憩場」



屋外から病棟の入退を確認。
赤外照明を装備し、照度0lxでも撮影可能



駐車場の車両の入出庫を確認

医療現場をサポートする映像情報の利用に期待

最後に、弊社または弊社製品へのご要望を伺いました。

「導入したシステムの機能をより活用することで、さらにもどのような運用ができるか、提案して頂きたいと思います。それらを活用し、さらなる安全・安心の向上を検討したいと考えています。」

映像監視システムをさらに活用するため、顔認証により特定の人物を追跡する機能や、映像による入退管理と出勤情報を連携するアプリケーションの開発を希望します。

また、病棟を往診しているドクターがタブレットを見ることで、手術室や検査室の状況を映像で把握することができ、病院不在のドクターに患者様の容態を画像転送するなど映像情報広く共有し迅速な対応を支援するシステムの開発を期待します。」

池上通信機は、安全と安心を支える現場のニーズにマッチした運用性の高いシステムを提案し、社会の安全・安心に貢献してまいります。